

木屋瀬

自治区会報

2019. 夏号

〒807-1261

八幡西区木屋瀬2丁目29-18

TEL 617-1130

発行責任者：高宮 歳 継

第60号

雨と暑さの木屋瀬祇園 無事故で宮入り飾る



七月十三・十四日筑前
木屋瀬祇園祭りを挙行
いたしました。一日目は
大雨でしたが、二日目は
天候も回復し、猛暑にも
かかわらず沢山の見物
の皆さんに感動を与え
事故なく無事に宮入り
を終えました。さてこの
時期になると祭りの事
故の報が伝えられます
が木屋瀬では事故は絶
対起きないという強い
意志で毎年祭りを運営
しています。総取締りの
指揮の下、掛け合い、行

動、交通、保護係りが
それぞれの役割を全う
し安全第一で山笠の巡
行を行っています。
輪番制による一番
山、二番山の当番町の
皆様・全ての賄いを受
け持たれた婦人部の皆
様に心より感謝申しあ
げます。また熱い声援
を送っていただきまし
た住民の皆様にも感謝
申し上げます。
今号の発行に当り両
山の総取締り及び掛け
合いの両人より寄稿い
ただきました。

青山総取締(日の出)

城山 清

いろいろな準備を終え祭
り本番を迎えました。私は
副取締、掛け合いと山笠に携
わってきましたが、今回は諸
先輩の指示通り動いてきた
これまでと違い大きな責任
を持ち、自分の指示・考えで
行動しなければならぬので
随分と気苦労しました。

ただ日の出町内にはお宮事
に携わっている方が多く、い
ろいろなアドバイスをいただ
き、また婦人部の皆様も力強
い協力をしてくださいまし
た。更には他の町内会長の方
らご指導いただき大変助かり
ました。多々至らなかつた点
もあつたと思いますが、無事
に宮入りまで事故なく終える
ことができまして協力いただ
いた全ての皆様から感謝
申し上げます。有難うござい
ました。

青山掛け合い(日の出)

田中 智大

令和元年という記念
すべき年に、掛け合いと
いう大役を任せてもら
い期待で胸を膨らませ
る一方、木屋瀬の山笠
らしく勇壮に取り仕切
ることが出来るのかな
ど不安と心配な日々が
続きました。初日は大
雨でしたが二日目は天
気も回復し、事故もな
く無事に山笠を納める
ことが出来ました。今
年の祇園は楽しかった
と思つて頂けたら幸い
です。山笠会館の皆様
には豪華で迫力のある
山笠を作つて頂き大変
感謝しております。ま
た賄いを受け持たれた
婦人部の皆様、美味し
い料理を有難うござい
ました。

これからも木屋瀬祇
園の伝統やしきたりを
忘れることなく、より
良い祭りにしていくこ
とを肝に銘じ、精進し
て参りたいと思つてい
ます。

赤山総取締(下町)

上川 勝則



令和元年の記念すべ
きに木屋瀬祇園山笠本町
六町一番山笠の総取締役
をさせて頂いたいただき大変光
榮に思う反面、いろいろな
心配もいたしました。当町
内会下町は、世帯数二十四
戸の木屋瀬で3番目に小
さな町内ですが、力をあわ
せて一致団結し、無事当番
町の大役を全うし「下町」
の心意気を示すことが出
来たと自負いたしております。
青問わず多くの皆様方の
ご協力・ご尽力の賜物と深
く感謝いたし手下ります。
初めての総取締役でい
ろいろと意の届かぬ所が
あつたと存じますがお許
し下さい。皆様お疲れ様で
した。誠に有難うございま
した。

赤山掛け合い(下町)

権堂 良佑

子供の頃からあこがれ
ていた掛け合いという大
役を任せられても不安と
緊張でいっぱいでした。
しかし先輩や仲間からの
アドバイスで少しずつ自
信を持てるようになりま
した。神事のルール、巡
行表作成など正直わから
ないことばかりでした。
それでも両山で話し合い
を重ね本番を迎え両山と
も全力を出し切ったと思
います。赤山では今年
子どもたちの参加も多
く「わっしょい」という掛け
声が大きく聞こえまし
た。これから先もずっと
子ども達、氏子の皆様沢
山の人達に魅力のある木
屋瀬祇園であつて欲しい
と思います。最後になり
ましたが、婦人部の皆様、
最高の接待を有難うござ
いました。そして山笠会
館の皆様、華やかで壮大
な山笠製作有難うござい
ました。
木屋瀬祇園山笠サイコー
わっしょい!!!

